

作業等	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害の例
被塗物、製品の積み下ろし作業	荷物の落下により足及び身体を負傷する
	フォークリフト、ホイストからの荷物の落下により足及び身体を負傷する
	取り扱い時や荷崩れで切傷や打撲傷を負う
梱包、箱詰め作業	荷載移動中に台車が倒れ、身体を負傷する
	手持ちでダンボールなどを運んでいるときに転んだり、足の上に落としたりする
	鋳物などの比重の重い製品は、ダンボールの底が抜けて製品が足の上に落下して負傷する
治具への装着作業	塗装作業場の搬入、搬出時に、落ちていたポリ袋などを踏んで足を滑らせ転倒する
	治具に被塗物を装着、脱着する際、針金により目や手を負傷する
手吹静電塗装機洗浄	治具を重ねて置き過ぎ、置き場の治具が崩れて負傷する
	電源を切らずに溶剤の中に先端部をつけて洗浄したため、溶剤に引火し火災を起こす
塗装ブースの清掃	溶剤洗浄する時に圧縮空気で飛散した溶剤が目に入る
	換気が不十分の所で作業を行い有機溶剤中毒になる
	塗装ブースの上部から排気ファンをおろすとき手や身体が挟まれる
電着塗料槽の作業	堆積塗膜のケレン作業時に塗料の破砕物が眼などに入り負傷する
	脱脂槽、塗装ブース水槽などの清掃時に、アルカリ性の液体により皮膚などが薬傷を受ける
粉体塗装の作業	塗料槽を清掃する際に、換気が不十分だったため、中毒となる
	塗料槽に塗料を補給する際に、跳ねた塗料が目に入り薬傷となる
ロールコーターの作業	堆積した粉体により床が滑りやすくなり転倒する
コンベアの点検作業	粉体塗装において粉じん爆発が発生する
	ロールコーターのロールに手袋を巻き込まれる
	コンベアーチェーンなどの近辺で作業する時に、袖口、手袋を挟まれたり、巻き込まれたりする
	コンベア駆動部でのベルトやホイールなどの高速回転部、キャタピラなどの低速回転部に袖口、手袋などが巻き込まれる
	治具に掛けた製品の掛け方が悪く、稼働中にラインから外れ無理して拾おうとして、コンベアに体が巻き込まれる
	稼働中の吊り下げ式コンベアの治具に誤って体の一部が引っかかり裂傷する



別表3 工業塗装作業におけるリスクとその低減対策の例

1. 前処理液、薬剤が飛散、付着するリスク

- 被処理物やバスケットなどに触れる作業は素手で行わない
- 薬剤飛散に対し保護メガネ、保護手袋、保護前掛けおよび安全靴を着用する
- 装置からの飛散区域にはカバーを設置する

2. 塗装準備で溶剤、塗料を吸引、付着するリスク

- 作業時には保護メガネ、保護マスクを必ず着用する
- 作業は局所排気装置のある場所で行う

3. 塗装機の洗浄作業等での高圧による液飛散のリスク

- 塗装機、ホースを外す時は空気残圧がゼロになった後に行う
- 継ぎ手のパッキン、ホースなどの老朽化、漏れなどをチェックする
- 作業はエアモーターなどの電源を切ってから行う

4. 塗装作業で、自動機、ロボットなどに接触、負傷するリスク

- 自動機やロボットを取り扱う場合、定期点検整備を実施し、暴走運転が起きないように、作業前に稼働確認をする
- 自動機やロボットの機械の可動領域を調べておき柵等を設置する

5. 乾燥炉近辺の作業で火傷を負うリスク

- 乾燥炉の扉の開閉時は扉、炉内の温度を確認して行う。
- ハンガーから製品を外す際に加熱部への接触に注意する

6. 被塗物の着荷、脱荷時に手足を負傷するリスク

- フォークリフトやホイストの日常点検の実施および安全な積載方法の実施を行う
- 作業に対し手袋や安全靴を着用
- 治具には、許容数量や許容重量を守り過剰な取り付けはしない

7. 槽内のメンテナンス作業で酸欠になるリスク

- ダクト内や処理槽内の清掃時には換気を行う
- 槽内に入る前に酸素濃度を測る

8. 静電気等による火災、火傷のリスク

- 作業中、静電塗装機、被塗物の接地（アース）を取る
- 静電気が蓄積しない作業服、静電靴を着用する
- 溶剤などを扱う区域の電気設備は防爆仕様とする
- 作業場所の換気、排気を行い、有機溶剤の蒸気等を排出する